

ご 挨拶

紅葉も去り師走、加齢と共に1年が早くなりますが、今年も皆様方にはお世話になり有難うございます。当事務所も今年7月で30年目となりました。

1年の締めくくりとして皆様方に今年の活動報告と来年の抱負について報告させていただきます。

1. 今年の活動報告

(1) 9月より人吉事務所開設

人吉の寺床先生と共同で人吉事務所を開設しました。人吉は約700年の伝統ある相良藩であり米焼酎に代表される豊かな地域です。寺床先生50年の実績を大切に承継し、村本がリーダーとして育ってくれると期待しています。これで会計事務所部門は約30人体制となり、内税理士7名、受験生4名、法人・個人で顧客約1,000件、国内事業所5ヶ所となり開業時の目標に近づきました。

(2) 9月より社会保険労務士事務所を法人化

グループの特定社会保険労務士柏原事務所を法人化して社会保険労務士法人 東京労務グループとしました。今後の時流である専門化、事業継続性に備え、グループによる専門業務窓口一本化による皆様へのサービス体制向上に努めます。

(3) 業務内容のブランディングと若手育成

① 公益法人業務

財団・社団の指導実績が97件となり各種セミナーや公益法人書籍出版において1冊目が増版され2冊目も本年7月に出版し、米満をリーダーとしてかなり実績が出来、今後の伸びが確実となりました。さらに税務で関連がある大規模な医療法人(職員500名以上)の実務にも3件取組んでいます。

② クラウド会計業務

クラウド会計の指導実績も79件となり、坂井をリーダーとしてICTの発達に合わせて今後の有望市場となります。

③ 国際税務

新業務として、塩地をメインに国際税務のノウハウ作りをやっており、時代のグローバル化、TPP、本人の希望、実績等を考慮して、米国研修や東京研修を実施。今後は米国税理士や米国公認会計士の勉強が必要ですが、3年後の成長分野です。

④ 出版

社労士、司法書士、税理士業務における電子申告をテーマに5冊目の出版原稿執筆中です。

以上、大きく3点が活動報告であり、指向するのは税理士試験5科目合格者7名と特定社会保険労務士の専門知識をベースとして若い人を中心に顧客を大切に、正確で効率的な仕事をしていければと考えています。

2 来年の抱負

人材、専門性、窓口一本化、広域、ICT、専門学校 TAC を総合的に展開し、時流に沿いながら何が職業会計人として望ましくあるのかを心して新年を迎えられたらと思います。営業の3本柱が明確ですので、来年はとにかく新たな人材育成が急務です。

3. その他

本年の日経新聞や経済誌で気になった言葉は「ヘリコプターマネー」です。意味は政府による赤字国債でもないお金のバラマキです。マイナス金利と共に政府のデフレ対策だそうです。

何かおかしいと思いますが、景気や経済はまず心理学ですのでどうなるか来年も気をつけねばと思います。

最後に、皆様方と共に来年もよき年にしたいと思います。

平28年冬 東京会計グループ
代表社員・税理士・行政書士
梶山 春男